

PTA指導者人権教育研修会 (幼・小・中学校、高等学校及び盲・聾・養護学校)

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

岡山県教育委員会
岡山県教育庁人権・同和教育課
TEL 086-226-7612

実施年月日 実績等	<ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中学校PTA指導者人権教育研修会 4教育事務所で実施(参加者数 延べ853人) 岡山：平成16年7月27日(火) 倉敷：平成16年7月8日(木) 高梁：平成16年6月15日(火) 津山：平成16年7月26日(月) 高等学校及び盲・聾・養護学校PTA指導者人権教育研修会 3地区で実施(参加者数 延べ162人) 備前：平成16年7月21日(水) 備中：平成16年7月22日(木) 美作：平成16年7月23日(金)
主催(共催)	<ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中学校PTA指導者人権教育研修会 岡山県教育委員会(一部、市町村教育委員会、市町村PTA連合会と共催) 高等学校及び盲・聾・養護学校PTA指導者人権教育研修会 岡山県教育委員会、岡山県高等学校PTA連合会
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中学校PTA指導者人権教育研修会 岡山：ゆめトピア長船 倉敷：鴨方町民会館、鴨方町健康福祉センター 高梁：北房町民センター、北房町役場 津山：グリーンヒルズ津山・リージョンセンター 高等学校及び盲・聾・養護学校PTA指導者人権教育研修会 備前：ピュアリティまきび 備中：マービーふれあいセンター 美作：岡山県津山婦人青年の家
対 象	PTAの役員、および指導者的立場にある者
人権課題	様々な人権課題

事業の目的

国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画」を踏まえ、「岡山県人権政策推進指針」及び「岡山県人権教育推進委員会答申」等に基づいて、同和問題をはじめ子ども、女性、高齢者など、様々な人権問題の解決を図ることを目的とする。PTAの指導者を対象として、人権問題についての正しい理解と認識を深めるための研修を実施し、人権意識の高揚を図るとともに、指導者の資質や意識の向上を目指す。

幼稚園や学校における人権教育についての保護者の理解を図るとともに、家庭や地域で、人権について話し合う機会が広がることを期待している。

事業概要

〈幼・小・中学校PTA指導者人権教育研修会〉

PTAが人権教育を推進することの意義について説明した。PTAにおける人権学習が、子どもたちの健全な成長と幸せにつながることや、人権教育研修会をPTA活動の一環として計画的に位置付けることの必要性、研修内容や研修会を進める上での留意点についての理解を図った。

また、参加者が知的理解を図るだけでなく、人権問題を取り上げたワークショップ等の体験



講演のようす

的参加型学習を体験したり、特色のあるPTAの実践例を紹介する情報交換をしたりする中で、それぞれのPTAの研修内容や方法について話し合った。研修会場ごとに実施した研修プログラムは、次のとおりである。

○岡山教育事務所管内

シナリオ作家の丘乃れい氏による「互いを尊敬しあえる時代へ」と題した講演をとおして、身近な差別に気付き、差別をなくするために行動することの大切さについての認識を深めた。

また、地元の公民館や学校で“人権人形劇”を上演する操り人形劇団「ちょう・かえる一座」の「おこった赤おに、ないた青おに」を視聴したり、ワークショップを活用した研修を行ったりした。その後、各PTAでの実践事例について紹介し合った。

○倉敷教育事務所管内

岡山県教育委員会が作成した「人権教育指導資料Ⅱ ワークショップ(上)」について紹介し、ワークショップについての理解を図った。

また、金子みすゞの詩から人権尊重のメッセージをさぐり、詩を題材として、親子で話し合える場を想定したワークショップを行ったり、「高知ワークショップをつくる会」の山中千枝子代表によるワークショップの手法を取り入れた講演「子育てと人権教育～ポケットのなかみ、教えて!～」をとおして、保護者として子どもにあるべき人権教育について理解を深めた。

○高梁教育事務所管内

HEAL(ホリスティック教育実践研究所)の金香百合代表によるワークショップの手法を取り入れた講演「子どもの生きる力をはぐくむために親やおとなにできること」をとおして、自尊感情について理解したり、子どもの人権を守ることの重要性について確認したりした。

また、各PTAでの実践事例について紹介し合った。

○津山教育事務所管内

「じんけん楽習塾」の大谷眞砂子氏による指導で、「人権感覚を磨く ～子どもの人権をとおして～」というテーマで、ワークショップを体験することで、子どもの人権を守ることの重要性について確認した。

また、人権啓発ビデオ「陽だまりの家」を視聴し、女性や高齢者問題についての理解を深めた。

〈高等学校及び盲・聾・養護学校PTA指導者人権教育研修会〉

岡山県・岡山県教育委員会が作成した「考えよう あなたの人権 わたしの人権」を活用して、将来を担う子どもたちに豊かな人権感覚を身に付けさせるためには、先ず、大人自身が、人権問題の解決を自らの課題としてとらえ、日常生活の中に生かせる人権意識、人権感覚を高めていくことが大切であることを説明した。

また、鳥取県人権文化センター専任研究員尾崎真理子氏を講師に、「身近な人権問題解決のために～“〇〇しない”から“〇〇する”へ～」と題したワークショップを実施し、身の回りの人権

問題に気付くことの大切さや人権問題を解決するための行動を考える機会をもった。

連携状況

本事業は、市町村教育委員会やPTA連合会と連携して実施している。

また、本県では、市町村が保育所、幼稚園、小・中学校等のPTAを対象として実施する研修事業を、県の補助事業で支援している。平成16年度には、この補助事業を活用して、各学校のPTAが実施した研修会に、延べ135,545人のPTAが参加した。

特色・工夫した点

- 人権問題についての知的理解を図るだけでなく、研修方法にワークショップを取り入れることで、人権問題の解決を自らの課題としてとらえ、日常生活の中に生かせる人権意識、人権感覚を高めることができるよう工夫した。
- 各PTAにおける実践事例の紹介の機会を設けることにより、具体的な情報交換が図れるようにした。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

- 参加者を対象としたアンケート調査では、各学校のPTAが実施する研修会の研修内容や、実施上での留意点について、とても参考になったとの意見が多く寄せられた。
- 各学校のPTAの研修方法に、従来の講義・講演やフィルムフォーラムに加えて、ワークショップを取り入れるPTAが増えたという報告が寄せられた。

反省点・今後の課題

幼稚園から高校まで、各PTAにおける研修内容の系統化を図ることができるようにすることが大切である。参加者が、より主体的に研修を深められるよう、研修内容や方法にさらなる工夫が必要である。



ワークショップのようす